

「透析患者のサルコペニアの状況～握力とその影響要因の検討～」に関する研究

1. 研究対象

2022年12月以降に笠岡第一病院にて血液維持透析行っている患者のうち、握力測定が可能であった方。

2. 研究目的・方法

サルコペニアとは、筋肉量や筋力が低下することで、日常生活に支障をきたしたり、転倒しやすくなります。サルコペニアは、加齢や活動度の低下とともに、生じやすくなりますが、透析患者さんは、サルコペニアである割合や程度が大きいといわれています。

当院では多くの透析患者さんの診療にあたっていますが、生活の質を維持するために、サルコペニア対策は重要であり、そのためにサルコペニアの指標となる握力や体組成を測定し、年齢、体重、合併症や診療で得られた血液検査所見などとの関連を調査し、サルコペニアの状況の把握とともに対応策を検討することを目的としている。

3. 研究に用いる情報の種類

情報：年齢、性別、透析歴、合併症、体重、握力、血液検査所見、体組成（InBodyで測定）、骨密度（DEXA法で測定）、生活習慣（質問形式による）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、ほかの研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書や関連資料を閲覧することができますので御申しつけください。

また情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承頂けない場合は治療対象としますので、下記の連絡先までお問い合わせください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

研究責任者：笠岡第一病院 内科 原田和博

笠岡市横島 1945 0865-67-0211

kazuhiro-harada@kasaoka-d-hp.or.jp

5. 利益相反

本研究において結果に影響をおよぼしかねない資金の受け入れや使用はありません。